

## 2023年度 授業シラバス

科目名	コミュニケーション技法	必修 選択	必修	年次	2	学科	メディアクリエイイト科 昼間I部
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】							
Microsoft社が認定するWord、Excelの機能や特性を学び、社会人としての必要なOfficeアプリケーションのスキル・知識を身につける。							
【到達目標】							
就職に有利な「Microsoft Office Specialist」(就職時の応募書類等、資格欄に記入可能)を受験し、受験者100%合格を目標に資格取得を目指す。							
【教員の略歴】							
IT講師として、小・中・高・大学、専門学校までの教育機関、企業・官公庁研修、社会人教育、一般市民講習と言った幅広い年齢層対象の様々な講習を担当。資格保有数は50を超え、IT資格のみならず、キャリアコンサルタント・コーチング・秘書検定などの資格も保持している。							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	試験概要、試験環境確認	①	ワークシートやブックの作成と管理
②	文書の作成と管理	②	ワークシートやブックの作成と管理
③	文字、段落、セクションの書式設定	③	セルやセル範囲のデータの管理
④	表とリストの作成	④	テーブルの作成
⑤	参考資料の作成と管理	⑤	数式や関数を使用した演算の実行
⑥	グラフィック要素の挿入と書式設定	⑥	グラフやオブジェクトの作成
⑦	模擬試験1	⑦	模擬試験1
⑧	模擬試験1(試験案内・申込書配布)	⑧	模擬試験2(試験案内・申込書配布)
⑨	模擬試験2	⑨	模擬試験3
⑩	模擬試験3	⑩	模擬試験4
⑪	模擬試験4	前期試験	⑪ 模擬試験5(模擬試験解説) 後期試験
⑫	模擬試験5(模擬試験解説)	⑫	模擬試験(試験直前対策①)
⑬	模擬試験(試験直前対策①)	⑬	模擬試験(試験直前対策②)
⑭	模擬試験(試験直前対策②)	⑭	模擬試験(試験直前対策③)
⑮	模擬試験(試験直前対策③)	⑮	答え合わせ
準備学習 時間外学習	各回、次回以降の授業と連携をしているため、苦手な箇所や、欠席した際には、その内容をしっかりと復習してから、次回出席のこと。	評価方法	MOS試験結果・授業態度・出席率・模擬試験の成績を、総合的に勘案する。
受講生への メッセージ	試験は外部提携試験会場にて実施します。詳細は授業で告知のうえ、試験申込みも含めて、すべて講師がサポートをします。試験対策という講座の主旨上、受験を前提としています。多欠席は合格スキルに到達できないため、欠席はしない、したところは必ず復習をしておいてください。	使用教科書 教材 参考書	Microsoft Word 2016 対策テキスト& 問題集 (FOM出版) Microsoft Excel 2016 対策テキスト& 問題集 (FOM出版) USBメモリ必携

## 2023年度 授業シラバス

科目名	放送業界基礎知識	必修 選択	必修	年次	2	学科名	メディアクリエイイト科 昼間 I 部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 ラジオ & テレビの誕生から現在までの歩みを理解し、放送の役割を学ぶ。優良番組や懐かしの番組も聴く							
【到達目標】 放送業界の世界や成り立ちなど学び理解することによって放送業界で活躍できる人物を育てる							
【教員の略歴】 ラジオ局で制作・報道・スポーツ・営業で社員として勤務。その後フリーディレクターとしてFM、AMラジオ局で働く							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	放送局の種類と形態	①	テレビ放送の誕生
②	近畿のラジオ局について	②	NHKテレビの変遷
③	海外のラジオ放送誕生	③	民放テレビの発展・変遷①
④	NHKラジオ放送の開始	④	民放テレビの発展・変遷②
⑤	民放ラジオ局の誕生	⑤	民放テレビの発展・変遷③
⑥	ラジオ初期の番組	⑥	CMソングの変遷
⑦	ラジオ番組の発展と変遷①	⑦	効果的なCMとは？
⑧	ラジオ番組の発展と変遷②	⑧	民放の収入、広告会社
⑨	ラジオ番組の発展と変遷③	⑨	放送業界 & 業界用語について
⑩	筆記試験	前期試験	⑩ ラジオに必要なこと
⑪	放送と報道・娯楽	⑪	筆記試験
⑫	番組編成、ネットワーク	⑫	震災関連ラジオ番組モニター
⑬	民放コンクール・ラジオ優秀作品モニター①	⑬	ラジオ番組制作
⑭	民放コンクール・ラジオ優秀作品モニター②	⑭	合評
⑮	民放コンクール・ラジオ優秀作品モニター③	⑮	まとめ
準備学習 時間外学習	まずとにかくラジオ (FM・AM問わず) をたくさん聴いて聴いて聴きまくる	評価方法	筆記試験、出席率
受講生への メッセージ	授業を真剣に受けないのは自分にとっての大きなマイナス、損です	使用教科書 教材 参考書	特になし

## 2023年度 授業シラバス

科目名	番組・イベント企画	必修 選択	必修	年次	2	学科名	メディアクリエイト科 昼間 I 部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8単位)	開講区分	通年
<b>【授業の学習内容】</b> ライブ素材を使っの、番組制作。ただ音楽やインタビューを反映した番組を作ることが目的ではなく、様々な人との関わり方や、制作にあたっての進め方などを感じてもらう。実際に現場へ出た時に、プラスになる繋がりができれば。							
<b>【到達目標】</b> 外部アーティストを迎えたイベントの番組制作ができるようになること。 イベントでのスタッフとの関わり方やつながりをこの授業を通して学んでもらう。							
<b>【教員の略歴】</b> FM局を中心にラジオ業界で活躍中。							

前期		後期		
授業計画・内容		授業計画・内容		
①	授業内容の説明、班分け、企画	①	企画、フォーマット制作、取材準備	
②	フォーマット制作、翌週の取材準備	②	スタジオ収録、翌週の取材準備	
③	取材準備、現場収録	③	取材準備、現場収録、スタジオ収録	
④	フォーマット制作、スタジオ収録、編集作業	④	取材準備、現場収録、スタジオ収録	
⑤	スタジオ収録、編集作業、完パケ	⑤	編集作業、完パケ	
⑥	10日、17日分の取材準備、再構成	⑥	心齋橋ビヨンドでの公開収録準備	
⑦	取材準備、現場収録、スタジオ収録	⑦	心齋橋ビヨンドでの公開収録準備	
⑧	取材準備、現場収録、スタジオ収録	⑧	心齋橋ビヨンド(公開収録実施)	
⑨	フォーマット制作、スタジオ収録、編集作業	⑨	完パケ作業	
⑩	スタジオ収録、編集作業、完パケ	⑩	完パケ作業	
⑪	前期試験	前期試験	⑪ 視聴会、ディスカッション、編集作業(完パケ再提出)	
⑫	取材準備、現場収録、編集作業(完パケ再提出)	⑫	後期試験	後期試験
⑬	収録素材の確認	⑬	収録素材の確認	
⑭	後期に向けて話し合い、企画案	⑭	収録素材の確認	
⑮	後期に向けて話し合い、企画案	⑮	1年間を振り返って	
準備学習 時間外学習	ゲストフォーマットの仕込みや原稿など 間に合わない部分はそれぞれ作業。	評価方法	試験、完パケ番組の提出。 アイデア、技術も評価しますが、 出席や取り組む姿勢を 見たいと思います。	
受講生への メッセージ	生放送形式で行う授業が多いと思うのでこの授業では”収録/ 完パケだからできること”を中心に番組制作に取り組んでもら おうと思っています。 ”上手に制作すること”より、人とのやりとりを大切にしてい ます。	使用教科書 教材 参考書	(機材室で借りるものですが) レコーダーなどの機材、キューベースなどを使用します。	

## 2023年度 授業シラバス

科目名	マーケティング&プレゼンテーション	必修 選択	必修	年次	2	学科名	メディアクリエイト科 昼間 I 部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 CAD操作の基本を身につけ図面作図に応用出来るようにする							
【到達目標】 CAD操作の基本を身につけ図面作図に応用出来るようにする							
【教員の略歴】 建築設計会社にて図面など担当							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	具体的な設計寸法の習得	①	詳細図面作成の練習
②	具体的な設計寸法の習得	②	詳細図面作成の練習
③	具体的な設計寸法の習得	③	詳細図面作成の練習
④	平面図作成の習得	④	詳細図面作成の練習
⑤	平面図作成の習得	⑤	舞台公演の劇場平面断面のCAD化
⑥	平面図作成の習得	⑥	舞台公演の劇場平面断面のCAD化
⑦	展開図作成の習得	⑦	舞台公演の劇場平面断面のCAD化
⑧	展開図作成の習得	⑧	舞台公演の劇場平面断面のCAD化
⑨	展開図作成の習得	⑨	舞台公演のセットのCAD化
⑩	展開図作成の習得	⑩	応用操作の組み合わせの練習
⑪	玄関装飾図面のCAD化	⑪	後期テスト 演習理解度の確認
⑫	玄関装飾図面のCAD化	⑫	舞台公演のセットのCAD化
⑬	前期テスト 演習理解度の確認	⑬	舞台公演のセットのCAD化
⑭	玄関装飾図面のCAD化	⑭	舞台公演のセットのCAD化
⑮	玄関装飾図面のCAD化	⑮	舞台公演のセットのCAD化
準備学習 時間外学習	他の授業ともリンクすることがあるので、CADで表現するならどうするか等の意識を持っておいてください。	評価方法	出席率と課題提出内容とテストで評価
受講生への メッセージ	CADで作成する図面はコミュニケーションツールです。作成した図面で何を相手に伝えたいかを意識すると作図能力が向上すると思います。	使用教科書 教材 参考書	はじめてのAutoCAD LT2021/2020

## 2023年度 授業シラバス

科目名	ステージ制作	必修 選択	必修 選択	年次	2	学科	メディアクリエイト科 昼間 I 部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	240 (16単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 工具、パネル作りが出来るようにしたい							
【到達目標】 エンターテインメント業界で働けるようにする							
【教員の略歴】 美術制作会社にて、舞台製作やイベント制作などを手掛けている。							

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	基本的な工具の説明		①	舞台で使うパネル作り	
②	基本的な工具の説明、電気工具の説明		②	舞台で使うパネル作り	
③	電気工具の説明		③	舞台で使うパネル作り	
④	ノコギリ、カナヅチの使い方		④	階段、切り株の作り方	
⑤	パネルの作り方		⑤	階段、切り株の作り方	
⑥	パネルの作り方		⑥	階段、切り株の作り方	
⑦	野外イベントの看板デザイン		⑦	卒業公演の準備 図面の確認	
⑧	野外イベントの看板デザイン		⑧	卒業公演の準備 材料の算出、発注	
⑨	自分達が考えたデザインを形にする		⑨	卒業公演の準備 シーンごとの作成チーム分け	
⑩	自分達が考えたデザインを形にする	前期試験	⑩	卒業公演の準備 セット制作①	
⑪	自分達が考えたデザインを形にする		⑪	卒業公演の準備 セット制作②	後期試験
⑫	自分達が考えたデザインを形にする		⑫	卒業公演の準備 セット制作③	
⑬	自分達が考えたデザインを形にする		⑬	卒業公演の準備 会場での配置、修正	
⑭	自分達が考えたデザインを形にする		⑭	卒業公演 本番	
⑮	前期の作業まとめ		⑮	反省会	
準備学習 時間外学習	尺貫法や舞台でしるべき用語を覚える、		評価方法	出席率・通常態度・筆記試験	
受講生への メッセージ	頭の中で描いたものが形になる喜びを一緒に分かち合いましょう。		使用教科書 教材 参考書	木材、絵の具、釘	

## 2023年度 授業シラバス

科目名	テレビ番組制作	必修 選択	必修 選択	年次	2	学科	メディアクリエイト科 昼間 I 部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	240 (16単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 テレビ番組のセット制作 素材別に特性と加工技術を教え、応用技術と知識を育んでいく。							
【到達目標】 業界で通用する造形美術の基礎を学ぶ。							
【教員の略歴】 舞台、放送業界で美術として従事。立体造形師としても活動。							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	樹脂粘土による立体造形	①	2年生課程総合造形技術製作 1
②	発砲スチロール削り込み造形 1	②	2年生課程総合造形技術製作 2
③	発砲スチロール削り込み造形 2	③	2年生課程総合造形技術製作 3
④	発砲スチロール削り込み造形 3	④	テレビ番組合同制作のセット製作 1
⑤	発砲スチロール削り込み造形 4	⑤	テレビ番組合同制作のセット製作 2
⑥	発砲スチロール削り込み造形 5	⑥	テレビ番組合同制作のセット製作 3
⑦	発砲スチロール削り込み造形 6	⑦	テレビ番組合同制作のセット製作 4
⑧	発砲スチロールによる組み立て造形 1	⑧	卒業制作における造形技術の応用 1
⑨	発砲スチロールによる組み立て造形 2	⑨	卒業制作における造形技術の応用 2
⑩	発砲スチロールによる組み立て造形 3	前期試験	⑩ 卒業制作における造形技術の応用 3
⑪	ウレタン素材による形成技術 1	⑪	卒業制作における造形技術の応用 4
⑫	ウレタン素材による形成技術 2	⑫	卒業制作における造形技術の応用 5
⑬	ウレタン素材による形成技術 3	⑬	卒業制作における造形技術の応用 6
⑭	ウレタン素材による形成技術 4	⑭	卒業制作 本番
⑮	ウレタン素材による形成技術 5	⑮	反省会
準備学習 時間外学習	デッサンの授業をしっかりとってください。	評価方法	①実習による課題作品のクオリティ、ディテール、スケール、を評価 ②製作過程における積極性、自主性、創造力のレベルを評価 ③出席率 ④試験
受講生への メッセージ	ケガの無いように集中して授業を受けてください。	使用教科書 教材 参考書	特になし

## 2023年度 授業シラバス

科目名	ラジオ番組制作	必修 選択	必修 選択	年次	2	学科	メディアクリエイト科 昼間 I 部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	240 (16単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 15分、30分の番組企画の作成及びプレゼンを行い、企画に基づきラジオ番組制作を行う。後期は、卒業制作の準備及び作業チェックを行う。							
【到達目標】 ラジオ番組企画力および番組での演出方法を学ぶ。企画書の作成とそれに伴うプレゼン方法、演出方法及び予算管理のノウハウを身につける。							
【教員の略歴】 制作プロダクションにて、ドラマ、バラエティ、情報番組、ドキュメント、報道など多数の番組のディレクター、プロデューサーを務める。							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	番組の予算、編成、営業について。15分番組企画作成	①	30分番組完パケ作業
②	15分番組企画書作成と予算書作成	②	30分番組完パケ作業
③	15分番組企画プレゼン	③	30分番組プレビュー
④	30分番組企画書及び予算書作成	④	卒業制作の準備～制作する番組企画の発表
⑤	30分番組企画書及び予算書作成	⑤	卒業制作の準備(班分け、台本作成)
⑥	30分番組企画プレゼン	⑥	卒業制作の準備(台本作成、ロケ等)①
⑦	30分番組企画プレゼン～制作する番組企画の発表	⑦	卒業制作の準備(台本作成、ロケ等)②
⑧	30分番組制作期間(班分け、台本作成)	⑧	卒業制作の準備(編集、MA作業)①
⑨	30分番組制作期間(台本作成、ロケ等)	⑨	卒業制作の準備(編集、MA作業)②
⑩	30分番組制作期間(台本作成、ロケ等)	⑩	卒業制作の準備(編集、MA作業)③
⑪	30分番組制作期間(編集、MA作業)	⑪	卒業制作の準備 完パケ作業
⑫	30分番組制作期間(編集、MA作業)	⑫	卒業制作のプレビュー
⑬	スタジオ収録	⑬	卒業制作 リハーサル
⑭	スタジオ収録	⑭	卒業制作 本番
⑮	スタジオ収録	⑮	反省会
準備学習 時間外学習	たくさん映像を観てください。	評価方法	試験と出席率と授業への取り組み方及び、企画の独創性、発想力。 プレゼンの態度、企画書の仕上がり度。
受講生への メッセージ	一つ上のクオリティを実現させよう！	使用教科書 教材 参考書	テレビモニター、再生用PC

## 2023年度 授業シラバス

科目名	映画制作	必修 選択	必修 選択	年次	2	学科	メディアクリエイト科 昼間 I 部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	240 (16単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 映画制作における基礎知識を学ぶ。 コンピュータにインストールされた映像編集アプリケーションを使って映像言語の一部である編集行為を実践、そのスキルを習得する							
【到達目標】 映像制作は複数の人間の共同作業であることを認識し、その中で編集の果たす役割を理解する							
【教員の略歴】 映像制作会社にて編集を担当。様々なテレビ番組、ドラマなどを担当。							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	初めに言葉ありき	①	順次編集
②	撮影フォーマット相談	②	平行編集
③	デジタルデータの取り扱い	③	ジャンプカット
④	データバックアップの仕方	④	音編集
⑤	台本を読む	⑤	輝度レベル
⑥	Audio同期とカチンコの意味	⑥	色(コンポーネント)調整
⑦	割り本とラフカットで分かること	⑦	色(RGB)調整
⑧	時間と尺調と編集	⑧	バレ消し編集
⑨	合成の方法	⑨	コンポジット編集
⑩	前期試験	⑩	アウトプットの種類
⑪	納期は確認して守りましょう	⑪	後期試験
⑫	色校正とは何か	⑫	デジタルの利点と煩雑さ
⑬	試写	⑬	さよなら言葉
⑭	納品フォーマットに応じる	⑭	後期まとめ
⑮	前期まとめ	⑮	1年間を振り返って
準備学習 時間外学習	映画誕生から10年単位ごとの作品を鑑賞する(最低月一本)。 諸外国の映画を鑑賞する(つき一今年間最低12カ国)。	評価方法	日常の理解度と実技試験
受講生への メッセージ	映像制作は共同作業が基本です。従って理解、不理解を含めてコミュニケーションが重要となります。その際に必要なのが言語です。言葉をないがしろにしないでください。	使用教科書 教材 参考書	特になし

## 2023年度 授業シラバス

科目名	音楽制作	必修 選択	必修 選択	年次	2	学科	メディアクリエイト科 昼間 I 部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	240 (16単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 外部のバンドを迎え進行、照明、音響を学生が体験し、自分のできる事を日々増やしていく。							
【到達目標】 外部のバンドを迎え進行、照明、音響を学生が体験することで未来の自分像を明確にすることを目的とする							
【教員の略歴】 音楽制作会社の代表を務め、様々な音楽イベントを主催、運営を行っている。							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	自己紹介・担当グループ決め・ミーティング	①	後期のライブに向けて制作ミーティング
②	ライブに向けての実践練習	②	ライブに向けての実践練習
③	ライブに向けての実践練習	③	2アーティストによる授業内ライブ
④	1アーティストによる授業内ライブ	④	ライブに向けての実践練習
⑤	ライブの振り返り	⑤	2アーティストによる授業内ライブ
⑥	ライブに向けての実践練習	⑥	ライブに向けての実践練習
⑦	ライブに向けての実践練習	⑦	2アーティストによる授業内ライブ
⑧	2アーティストによる授業内ライブ	⑧	アメリカ村BEYONDに向けて実践練習1
⑨	ライブの振り返り	⑨	アメリカ村BEYONDに向けて実践練習2
⑩	ライブに向けての実践練習	⑩	アメリカ村BEYONDに向けて実践練習3
⑪	2アーティストによる授業内ライブ	⑪	アメリカ村BEYONDで4アーティストによるライブ実習
⑫	ライブの振り返り	⑫	振り返り
⑬	前期試験	前期試験	⑬ 後期試験・梅田ZEELAに向けての実践練習
⑭	2アーティストによる授業内ライブ	⑭	梅田ZEELA5アーティストによる卒業制作ライブ
⑮	2アーティストによる授業内ライブ	⑮	振り返り
準備学習 時間外学習	事前の資料作り	評価方法	試験、授業内の姿勢、取り組み方、出席率など
受講生への メッセージ	みんなで1年間楽しいライブを作り上げましょう	使用教科書 教材 参考書	PC

## 2023年度 授業シラバス

科目名	イベント制作	必修 選択	必修 選択	年次	2	学科	メディアクリエイト科 昼間 I 部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	240 (16単位)	開講区分	通年
<b>【授業の学習内容】</b> 電気の基礎知識、舞台・イベントのルールと常識、LED機材の扱い方、シーンにあった照明の作り方、一般調光卓の使い方を学ぶ。							
<b>【到達目標】</b> お芝居・音楽にあったシーンの明かりを考え、機材の準備・操作が一人でできるようになる。 舞台上で働くものとしての心得も学んでいただきます。							
<b>【教員の略歴】</b> 音響技術者歴8年以上は照明技術者として23年(市民会館常駐・全国ホール・アリーナ・イベント会場・ライブハウスなど) 日本照明家協会1級取得							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	安全対策楽しさ、やりがい～舞台用語基礎	①	明かり作り ① 情景描写・心理描写
②	仕事の種類 楽しさやりがい～ 就職対策	②	明かり作り ② フェードチェンジ・カットチェンジ
③	電気初歩…電圧・電流	③	照明機材の選び方と仕込み図面の書き方
④	ドリームホールの仕組み	④	音楽の照明プラン① 楽曲解析とリズム
⑤	照明機材の扱い方	⑤	音楽の照明プラン② シーン番号の振り方
⑥	回路取りと許容電流	⑥	芝居の照明プラン① 時間と季節
⑦	シュートの基礎	⑦	芝居の照明プラン② 情景描写とファンタジー
⑧	信号線(DMX)の流れとスプリッター	⑧	ホスピタルオブミラクル 対策 ① 安全対策・ホール詳細
⑨	調光卓の操作 基礎【パッチ】 フェーダーと灯体を結びつける	⑨	ホスピタルオブミラクル 対策 ② 楽曲解析
⑩	調光卓の操作 基礎【エフェクト】 リズムに合わせた照明作り	⑩	ホスピタルオブミラクル 対策 ③ ピンスポット
⑪	色とシーン作り	⑪	調光卓の操作【Que】(キュー)を使ったシーンの再生
⑫	LED灯体の扱い方	⑫	ホスピタルオブミラクルを終えて
⑬	チャレンジキャンパス対策	⑬	外部イベント参加と研修参加に向けて
⑭	ピンスポットの操作方法	⑭	舞台公演に向けて ①音ハメ
⑮	チャレンジキャンパスを終えて	⑮	舞台公演に向けて ②キメ明かり
準備学習 時間外学習	劇場やホールに行き、実際のイベントに多く触れてください。 お客様目線で誰よりも楽しみながら、照明や舞台の質問や疑問を をどんどん発見して授業でお聞きください。	評価方法	出席率とテスト
受講生への メッセージ	コンサートやお芝居をみて照明を志したと思います。 卒業時には舞台を支える裏方として、楽しみながらワクワクを提供する側になっていただきます。 必ず授業の復習をして、わからなかったことは毎回質問をするようにしてください。	使用教科書 教材 参考書	プロ音響データブック

## 2023年度 授業シラバス

科目名	PA演習	必修 選択	必修 選択	年次	2	学科	メディアクリエイト科 昼間 I 部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	240 (16単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 各イベントに対する対応力や機材に関する知識を身につける。また、機材を使用して基本的な使用方法から応用までを実践していく。							
【到達目標】 PA基礎の復習から進み実践的なシステム構築、プランなどを習得する。							
【教員の略歴】 音響制作会社に入職。その後レコーディングエンジニア兼PAエンジニアを担当。							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	音響知識～ケーブルの構造・電源～	①	前期 復習①
②	音響知識～マイク/DI/スピーカーに関する知識～	②	前期 復習②
③	知識小テスト・PAシステムプランについて	③	Danteシステム 応用① ドラムのセッティング
④	PA/SRシステム構築①	④	Danteシステム 応用② ギター・ベースのセッティング
⑤	PA/SRシステム構築②	⑤	Danteシステム 応用③ ヴォーカル・コーラスのセッティング
⑥	オペレーション実技① ～EQ～	⑥	チューニング実習～FOH～
⑦	オペレーション実技② ～音響効果～	⑦	チューニング実習～モニター～
⑧	オペレーション実技② ～ダイナミクス～	⑧	音源編集
⑨	ミックス実習	⑨	音響実習① 音域の調整
⑩	前期試験	⑩	音響実習② システム修正
⑪	デジタルネットワークについて	⑪	後期試験
⑫	Danteシステム構築①	⑫	イベント実習①ドラムのセッティング
⑬	Danteシステム構築②	⑬	イベント実習②ギター・ベースのセッティング
⑭	Danteシステム構築③	⑭	イベント実習③ヴォーカル・コーラスのセッティング
⑮	Danteシステム構築④	⑮	1年間の振り返り
準備学習 時間外学習	1年生の時に習った内容の復習	評価方法	実技・筆記試験・出席率・授業への姿勢
受講生への メッセージ	自分がイベントや現場に参加した後、分からなかった事・気になった事等はしっかりメモ等して学習していきましょう。	使用教科書 教材 参考書	特になし

## 2023年度 授業シラバス

科目名	マネジメント演習	必修 選択	必修 選択	年次	2	学科	メディアクリエイト科 昼間 I 部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	240 (16単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 アーティストをゼロから育成し市場に送り出す、そのステップと必要知識を身につける							
【到達目標】 音楽に特化し、アーティストを育てるノウハウを学ぶ。プロデュース能力を身につける							
【教員の略歴】 1986-2009年SONY MUSIC ENTERTAINMENT エピックレコード プロデューサー。ドラマ「のだめカンタービレ」音楽監督。社会現象に。2010年より沖縄県にて音楽事務所設立。2010年、2014年配信チャート1位等。2010-2015年 日本テレビ放送網と番組プロデュース契約。2019年より大阪移住、新人育成中							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	マネジメント概論(昨年のリマインド)	①	マーケティング① (プランニング対象素材オリエン)
②	マネジメント概論(昨年のリマインド)	②	マーケティング② (プロフィール/コンポジ)
③	自分は何を目指すのか	③	マーケティング③ (チーム編成 プランニング)
④	オリエン 映像制作素材	④	マーケティング④ (プランニング)
⑤	コンテンツ制作①	⑤	マーケティング⑤ (資料作成)
⑥	コンテンツ制作②	⑥	マーケティング⑥ (動画作成)
⑦	コンテンツプランニング	⑦	マーケティング⑦ (動画作成)
⑧	映像撮影技術	⑧	プレゼン
⑨	映像撮影技術	⑨	プレゼン予備日
⑩	撮影①携帯	前期試験	⑩ ライブシミュレーション(プランニング)
⑪	撮影②携帯		⑪ ライブシミュレーション(動画撮影) 後期試験
⑫	編集作業	⑫	著作権講座
⑬	編集作業	⑬	アーティストディレクション(パフォーマンス)
⑭	動画プレゼン	⑭	アーティストディレクション(作品)
⑮	動画プレゼン	⑮	アーティストディレクション(作品)
準備学習 時間外学習	自分自身でコンテンツ(映像)を残せるように、携帯撮影、編集、SNS発信に積極的に触れていただきたい	評価方法	前期 映像作品(SNSコンテンツ)提出。 後期 マーケティングプレゼン(映像使用)
受講生への メッセージ	今年の授業は、「コンテンツ制作が出来るマネージャー」を目指します。ファンを惹きつける力があるアーティスト・俳優等々の才能と向き合えるクリエイティブ能力を身につけます。年間を通して制作した映像作品を入社試験に提出できるのが目的です。	使用教科書 教材 参考書	特になし

## 2023年度 授業シラバス

科目名	業界研修	必修 選択	必修	年次	2	学科	メディアクリエイイト科 昼間 I 部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	240 (16単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 ムービングの基本知識の学び、実践を繰り返し行うことで技術の習得する							
【到達目標】 MA2の基本操作、ムービングの基礎を習得する。							
【教員の略歴】 劇場の照明管理。 数多くの芝居、ミュージカルの照明オペレーターとして活躍。							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	GrandMA2 概要と基本操作	①	Effectの中身について
②	TourCAMの設定	②	SequenceによるEffect
③	ムービングライトについて	③	一般調光について
④	Show設定 - Patch、Stage Setup、Auto Create	④	Cue の詳細な編集
⑤	Screen 設定/View との作成と保存	⑤	Layout View
⑥	Cueについて	⑥	Plan & Operation①
⑦	Sequenceの作成	⑦	Plan & Operation②
⑧	effect	⑧	1年間の復習①
⑨	Sequenceの作成	⑨	1年間の復習②
⑩	前期試験(実習)	⑩	後期試験(実習)
⑪	ムービングライトのアドレスモードの違いについて	⑪	後期試験(実習)
⑫	Preset の種類と保存・修正	⑫	卒業公演に向けて①
⑬	DMXの基礎知識と劇場システムの理解①	⑬	卒業公演に向けて②
⑭	DMXの基礎知識と劇場システムの理解②	⑭	卒業公演 本番
⑮	DMXを実践	⑮	振り返り
準備学習 時間外学習	たくさんの作品に触れましょう。	評価方法	出席・授業態度・実技試験を総合的に評価する
受講生への メッセージ	パソコンの操作知識が要求されるので、 日常的にパソコンに触れておくように	使用教科書 教材 参考書	特になし

## 2023年度 授業シラバス

科目名	卒業制作	必修 選択	必修	年次	2	学科	メディアクリエイト科 昼間 I 部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 ミュージカル上演までの制作全般							
【到達目標】 卒業公演、地域貢献ミュージカルの制作進行をすることで制作の仕事を学ぶ。							
【教員の略歴】 劇作家、演出家。代表作として、滋慶学園COMグループが全国で取り組む「Hospital of Miracle」や「甲子園だけが高校野球ではない」「進路ミュージカル」などがある。その他、滋慶学園COMグループ教育顧問。芸能プロダクションの代表取締役も務める。							

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	社会貢献ミュージカル「Hospital of Miracle」説明		①	We are BAC・OASの説明	
②	社会貢献ミュージカル「Hospital of Miracle」制作割り振り		②	We are BAC・OASの制作割り振り	
③	社会貢献ミュージカル「Hospital of Miracle」オーデ準備		③	We are BAC・OASの資料集め	
④	社会貢献ミュージカル「Hospital of Miracle」オーディション		④	We are BAC・OASの資料集め	
⑤	社会貢献ミュージカル「Hospital of Miracle」キャスト決め		⑤	We are BAC・OASの資料制作	
⑥	社会貢献ミュージカル「Hospital of Miracle」宣伝会議		⑥	We are BAC・OASの資料制作	
⑦	社会貢献ミュージカル「Hospital of Miracle」宣伝		⑦	We are BAC・OASの各部署打ち合わせ	
⑧	社会貢献ミュージカル「Hospital of Miracle」稽古		⑧	We are BAC・OASの各部署打ち合わせ	
⑨	社会貢献ミュージカル「Hospital of Miracle」稽古		⑨	We are BAC・OASのリハーサル	
⑩	社会貢献ミュージカル「Hospital of Miracle」稽古	前期試験	⑩	We are BAC・OASのリハーサル	
⑪	社会貢献ミュージカル「Hospital of Miracle」稽古		⑪	We are BAC・OASのゲネプロ	後期試験
⑫	社会貢献ミュージカル「Hospital of Miracle」稽古		⑫	We are BAC・OASのゲネプロ	
⑬	社会貢献ミュージカル「Hospital of Miracle」稽古		⑬	We are BAC・OASの本番	
⑭	社会貢献ミュージカル「Hospital of Miracle」本番		⑭	We are BAC・OASの本番	
⑮	社会貢献ミュージカル「Hospital of Miracle」振り返り		⑮	振り返り	
準備学習 時間外学習	たくさんの作品に触れましょう。		評価方法	試験・出席率・授業態度・スキル	
受講生への メッセージ	ワクワクする感動するステージを一緒につくろう		使用教科書 教材 参考書	特になし	